

- 3日 第28回全国都市緑化かごしまフェア(花かごしま2011)のマスコットキャラクターの名称が決定
かごしまメルヘン館で特別企画展「ようこそ!絵本遊園地」を開催(～8月31日)
- 10日 磯海水浴場海開き(～8月31日)
- 15日 2011年世界室内自転車競技選手権大会の本市開催が内定
日本での開催は平成13年の旧加世田市以来、10年ぶり2回目。9月25日にはみなと大通り公園でドイツジュニアチームのサイクルフィギュアなどのデモンストラーションが行われ、また第21回鹿児島カップ火まめぐりヨットレース(～20日)
- 18日 桜島納涼観光船運行開始(～8月31日)
- 22日 生見海水浴場ほか海開き(～8月31日)
- 26日 部分日食を観測
火の島祭り



7月

- 4日 5代目ユウユウ歓迎セレモニー
かごしま水族館の人気者・ジンベエザメの5代目「ユウユウ」が黒潮大水槽にお目見えしました
- 10日 赤水展望広場オープン
- 11日 市農業アドバイザーを委嘱
アドバイザーになったのは丸山義治氏。本市の農業振興などへの専門的なアドバイスをを行います
- 22日 第9回かごしま錦江湾サマーナイト大花火大会
- 27日 "美味のまち鹿児島"づくり協議会設立



8月

- 5日 本場大島紬アンテナショップ「織姫館」オープン
鹿児島の伝統的工芸品である本場大島紬の魅力を紹介し、鶴岡市・鹿児島市兄弟都市盟約40周年記念式典
- 24日 山形県鶴岡市との兄弟都市盟約締結40周年を祝う記念式典が行われ、友好をさらに深めました



9月

- 11日 公用車に電気自動車を導入
- 16日 かごしま近代文学館で特別企画展「向田邦子展～彼女のすべて26のキーワード」を開催(～11月30日)
鹿児島ゆかりの作家・向田邦子の生誕80年を記念して、特別企画展を開催。本人の肉声テープが初公開されました
- 17日 第4回かごしまアジア青少年芸術祭(～18日)
アジアの5カ国約130人の青少年と本市の青少年が音楽などを通して交流を深めました
- 22日 かごしま観光PRキャラバン隊出発式
千葉ロッテマリーンズ鹿児島秋季キャンプ(～28日)
- 29日 2009火山砂防フォーラム
火山を抱える全国の自治体の火山防災担当者や住民などが参加し、火山地域の振興と噴火対策のあり方を考えました



10月

- 2・3日 第58回おはら祭
2日間で約2万4000人が参加。晴れ渡った秋空の下、延べ20万人が南九州最大の祭りを楽しみました
- 8日 姉妹都市パース市への盟約35周年記念答礼訪問(～18日)
- 25日 天文館に「天まちサロン」がオープン
観光・イベントの情報発信や手荷物の預かりなどを行います。にぎわいと来街者の利便性の向上が期待されます



11月

市民フォト鹿児島No116を発行しました

◇今回の特集は「天文館～あの頃、現在、そして未来へ」。天文館の移り変わりを通して、本市の顔である天文館を特集します

◇金融機関や郵便局、病院、理・美容院などでご覧いただけます。個人購読の購読料は1冊200円です。詳しくは広報課216-1133へ

市民フォト鹿児島No117「あなたのフォトサロン」へ掲載する写真を募集しています

◇あなたの自慢の1枚を掲載しませんか。応募方法など詳しくは広報課へ

市政 この1年 人が輝き 2009年 みどりが輝いた



●7月3日 第28回全国都市緑化かごしまフェア(花かごしま2011)のマスコットキャラクターの名称が決定
名称は緑「グリーン」とぶた「ぶー」を合わせて「くりぶー」。平成23年春のフェア開催に向け、県内外でPR活動を行っています



●7月22日 部分日食を観測
あいにくの天気でしたが、ドルフィンポートには世紀の天文ショーをひと目見ようと、多くの人が詰めかけ、大きく欠けた太陽に歓声が上がりました



●8月10日 赤水展望広場オープン
新たな観光・交流スポットとして、桜島・赤水探石場跡地に誕生。雄大な桜島と波静かな錦江湾を一望できます

観光・鹿児島の新たな魅力が生まれました

●8月27日 "美味のまち鹿児島"づくり協議会設立
平成23年春の九州新幹線全線開業を見据え、「食」をテーマに新たな魅力づくりを行います。10月にはシンポジウム、11月からはワークショップを開催。今後、具体的な方策の検討を進めていきます



●3月30日 歴史ロード「維新ふるさとの道(南洲橋～高麗橋間)」が完成
明治維新の原動力となった偉人を数多く輩出した加治屋町に新たな魅力が誕生。甲突川河畔を歴史の息吹を感じながら散策できます



鹿児島島の素晴らしい魅力を伝えていきます

○かごしま観光PRキャラバン隊で、篤姫役として、県内外で鹿児島のPRをしています。

○鹿児島は雄大な桜島をはじめ、歴史や食など、鹿児島にしかない魅力がたくさんあります。今年は歴史ロード「維新ふるさとの道」や桜島の赤水展望広場などがオープンして、新たな魅力も加わりました。

○平成23年春の九州新幹線全線開業で大阪から約4時間とくっと近くなる鹿児島市。多くの人が訪れ、また来たいというリピーターを増やせるように、全国にPRしていきたいですね。



●10月22日 かごしま観光PRキャラバン隊出発式
平成23年春の九州新幹線全線開業に向け、篤姫や西郷隆盛などにふんして、県内外で鹿児島のPRを行い、観光客の誘致に努めます



●3月8日 加藤久仁生監督に市芸術文化栄誉賞を授賞
「つみきのいえ」で日本人初となるアカデミー賞短編アニメーション賞を受賞した加藤監督に第1号の市芸術文化栄誉賞を贈りました



●4月9日 桜島昭和火口が活動再開後、最大の噴火
平成18年に活動を再開した昭和火口「この日の噴火は噴煙が4000mを超え、大量の灰が市街地に降りました。昭和50年代～60年代の桜島南岳の活発な活動と比較すると小規模ですが、次第に活動は活発化しています

環境にやさしいまちづくりを進めています

●3月17日 市電軌道敷緑化が第1回「南九州景観整美大賞」を受賞
環境への配慮と魅力ある景観づくりの取り組みが評価されました。現在、鹿児島駅～中洲電停交差点、高見馬場交差点～新屋敷交差点間が整備され、平成24年度までには道路との併用軌道区間全線を整備します



●10月11日 公用車に電気自動車を導入
地球環境にやさしい電気自動車。今年度は公用車として8台を導入。この日、第1号がかごしま環境未来館に導入されました。今年度から市民、事業者への電気自動車の購入費補助も開始しました

環境への関心がさらに高まった1年でした

○かごしま環境未来館の開館から1年が過ぎ、約28万人の方々に来館していただきました。私たちスタッフはできるだけ分かりやすく、環境のことを説明するように心がけてきました。

○またこの1年、館で行った環境に関する講座、イベントは大盛況。皆さんの環境への関心が高くなってきていると思います。

○これからもさらに多くの人に来館していただけるよう、講座・イベントなどの内容を充実させていきたいです。そして、それが皆さんの生活で実践されるようにスタッフ一同がんばってまいります。



今年、本市では電動アシスト自転車の購入費補助を開始し、またパース通線の自転車歩行者道の整備や自転車走行空間ネットワーク化の検討など、環境にやさしい自転車を生かしたまちづくりを積極的に進めています

今年も残すところあと1月。皆さんにとって、どのような1年でしたか。本市では、みどりあふれる地球にやさしい「環境リーディングシティ鹿児島の実現」や九州新幹線全線開業を見据えた「魅力と活力あふれる都市の創造」などの重点施策を掲げ、「人とみどりが輝くまち・かごしま」の創造に向けたまちづくりを進めてきました。

今回の特集では、この1年の市政の動きや出来事を振り返ります。

今年の市政の出来事

- 7日 鹿児島市緊急経済・雇用対策本部を設置
厳しい経済状況の中、本市の経済と雇用の安定に向けて、必要な対策に全庁で取り組んでいます
- 14日 桜島火山爆発総合防災訓練を実施
- 3日 福岡市で「鹿児島の物産と観光展」開催(～8日)
- 8日 清水エスパルス&ジュビロ磐田キャンプ(～18日)
- 22日 第29回ランニング桜島大会
- 26日 維新ふるさと館「維新体感ホール」リニューアルオープン
薩摩藩英国留学生をテーマにしたドラマ「薩摩学生をテーマにしたドラマ「薩摩学生、西へ」」が加わりました
- 8日 加藤久仁生監督に市芸術文化栄誉賞を授賞
- 14日 JR 広木駅が開業
鹿児島中央駅までの所要時間は約5分。多くの通勤、通学客が利用しています
- 17日 市電軌道敷緑化が第1回「南九州景観整美大賞」を受賞
- 30日 歴史ロード「維新ふるさとの道」(南洲橋～高麗橋間)が完成
- 31日 織姫館が閉館
昨年1月に開館した「織姫館」が閉館。約66万7000人が訪れ、本市の観光振興に大きく寄与しました
- 7日 パース市との姉妹友好都市締結35周年記念式典
オーストラリア・パース市のリサ・スカフィディー市長を団長とする親善訪問団を迎えて、開催。新たな交流のきずなを深めました
- 9日 桜島昭和火口が活動再開後、最大の噴火
- 16日 新鴨池公園水泳プール建設工事に着工
本市初のPFI事業として整備される新鴨池公園水泳プールの工事がスタート。オープンは平成23年4月の予定です
- 30日 新型インフルエンザ危機対策本部を設置
新型インフルエンザの予防と感染拡大防止対策などを協議しています
- 8日 定額給付金・子育て応援特別手当の支給開始
生活支援と地域経済対策のための「定額給付金」と多子世帯の幼児教育期の子育て支援のための「子育て応援特別手当」の支給が始まりました
- 13日 神戸市で「第41回南国鹿児島の物産と観光展」開催(～19日)
- 16日 第12回渋谷・鹿児島おはら祭(～17日)
- 30日 三重岳自然遊歩道(南方コース)を開設
本市が指定する9コース目の自然遊歩道。郡山地域の川田町亀甲橋付近～三重岳山頂へ向かう4.5kmのコースです
- 1日 地域福祉館の機能を充実
地域で互いに支え合い、助け合う仕組みを整えるため、新たに地域の福祉活動の支援や福祉に関する相談・情報提供などの機能を充実しました
- 20日 鹿児島市とくくとお買物券販売開始(～26日)
地域経済の浮揚や活性化を図るため、市内の商工団体がプレミアム付商品券を発行しました
- 26日 環境対策に関する産学官連携「公共建築物の低炭素化を目指す鹿児島プロジェクト」を発表
本市と鹿児島大学、企業が連携した取り組みにより、大きな成果が挙がるのが期待されます

5月

6月